

## 1. 背景・目的

- ▶ 36年ぶりに開催した緑化フェアの会場には多くの方が来場し、花やみどりが持つ「華やかさ・癒し・賑わい」などを改めて実感。
- ▶ 緑化フェアを一過性のイベントとすることなく、花と緑への関心の高まりを最大限活かした継続的・発展的な取組の展開が必要。



<水辺エリアの様子>

## 2. 今後の取組

### (1) オープンガーデンやスポンサー花壇などの NEO GREEN PROJECT<sup>※1</sup> の取組を一層推進

※<sup>1</sup> NEO GREEN PROJECT とは、緑化フェアを契機に、開催前から取り組み、拡大していく様々な緑化活動の総称。



オープンガーデン



スポンサー花壇



花育



協働活動

### (2) レガシーイベントの開催（花緑を愛でるきっかけづくり、ワークショップ開催）

- ▶ 緑化フェアで感じた花や緑の魅力を再び体験してもらい、関心の高まりを継続させていく

### (3) 令和3年3月に改定した緑の基本計画のアクションプログラム（行動計画）の策定

- ▶ 実施内容：緑化重点地区を基本とした 20 エリア<sup>※2</sup>における官民の活動内容を具現化することで、実効性を高め、森の都くまもとの更なる推進を図る。（環境局と連携）

※<sup>2</sup> 中心市街地&地域拠点 15箇所&森林4箇所<立田山・金峰山・託麻三山・雁回山>

- ▶ 実施期間：令和4年度～令和8年度の5年間 ※順次、令和6年度までに20エリア策定予定

#### ▶ 策定のポイント

	具体事例
Point①：都市の魅力と価値を高める花と緑の空間づくり【育む】	フラワースポット、並木通り etc
Point②：緑の多機能性の発揮（グリーンインフラ <sup>※3</sup> の整備促進）【活かす】	レインガーデン、緑陰形成 etc
Point③：協働による緑のまちづくりの推進【繋げる】【育む】【守る】	パートナー花壇、愛護団体促進 etc

<市民・企業を巻き込んだ事業手法・スキーム(体制・資金 etc)の検討>

※<sup>3</sup> 自然環境が有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力ある地域づくりを進めるもの。

#### ▶ 策定のスケジュール

令和4年度 先行3エリア（中心市街地、上熊本、立田山）策定  
→事例調査、現地調査、各種試行事業の実施

令和5年度 先行3エリア事業実施、7エリア策定

令和6年度 策定10エリア事業実施、10エリア策定（全20エリア策定完了）

令和7年度以降 全20エリア事業実施



Point①：空間づくり

R4年度							R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
6月	7月	9月	10月	12月	1月	3月	事業実施(街路景観形成、花みどり活動、緑育花育、団体育成 etc)			
	機	機	機	機	機	策	7 月 策	10 月 策		